

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名 Evaluating broadly neutralizing antibodies for
targeted ADCC cure strategies in the Asia Pacific
region
研究開発機関名 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
研究開発代表者名 山本 拓也

指摘事項

● 評価できる点

主にアジア諸国で流行している HIV に対する広範中和抗体のサブタイプの作成、抗体依存性細胞傷害活性 (ADCC) を評価できる系を樹立しており、基礎的な研究の進展が期待できる。

● 疑問点、改善すべき点

目的としていた基盤整備は達成されたものの、開発した広範中和抗体の効果は明らかになっていない。引き続き、*In vitro* の活性評価が体内での有効性評価につながるか、広範中和抗体の効果の検証を行い、その成果を論文発表することが望まれる。さらに本研究の成果が、抗 HIV 治療の枠組みに広範中和抗体を用いた治療の位置づけが明確になる成果も期待する。

以上